

## 要 旨

試験委託者 環境省

表 題 アリルアルコールのオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する繁殖試験

試験番号 No. 2002-生29

### 試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドラインNo. 211「オオミジンコ繁殖試験」(1998年)に準拠して実施した。

- 1) 被験物質： アリルアルコール
- 2) 暴露方式： 半止水式 (24 時間毎に試験液の全量を交換、密閉容器使用)
- 3) 供試生物： オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 暴露期間： 21日間
- 5) 試験濃度(設定値)： 対照区, 0.046, 0.10, 0.22, 0.46, 1.0, 2.2 mg/L  
公比 ; 2.2
- 6) 試験液量： 80 mL/容器
- 7) 連数： 10 容器/試験区
- 8) 供試生物数： 10 頭/試験区 (1 頭/容器)
- 9) 試験温度： 20±1 °C
- 10) 照明： 室内光、16 時間明/8 時間暗
- 11) pH： 試験液の pH調整は行わない
- 12) 分析法： GC-MS法

## 結 果

### 1) 試験液中の被験物質濃度

被験物質の測定濃度は換水前後の測定値を用いて 21 日間の時間加重平均値を求め、各影響濃度を算出した。

### 2) 21 日間暴露の各影響濃度結果を以下に示す。

親ミジンコの半数致死濃度 (LC50) : 1.36 mg/L (95%信頼区間 : 0.919 ~ 2.02 mg/L), Binominal

50% 繁殖阻害濃度 (EC50) : > 0.919 mg/L

最大無作用濃度 (NOEC) : 0.919 mg/L

最小作用濃度 (LOEC) : > 0.919 mg/L